

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・日により、送迎で手薄になることがある。 ・細かな段差がある。 ・利用者によっては、多いといいなと思う日がある。 ・車いすのスロープが手間がかかる。 ・動いて遊ぶ場所と、落ち着いて遊ぶ場所で分けている。 ・平日は5人は欲しいと思う。 ・利用者のプライベートスペースがあるといい。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	4	1	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	5	1	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を受けていない。 ・社員、パート研修、それぞれの委員会でも機会を設けている。 ・第三者がいるのか知らない。 ・毎月のMTGで目標を振り返り、そこに関しての改善策をみんなで考える時間がある。 ・アンケート回収後、検討事項は検討している。 ・社内、社外どちらとも研修の機会は多くある。 ・自己評価を公開しているのか分からない。 ・第三者による評価を行っているか知らない。 ・保護者の意向は分からない。 ・研修は受けているが、スキルアップは感じられない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1	1	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	3	1	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	3	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	1	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントツールとして、ヴァインランドⅡを使用している。 ・活動プログラムは、スタッフ間で出し合って相談している。 ・子供のコミュニケーションや、発達段階に応じて個別支援計画を作成している。 ・朝礼で支援の相談をしている。 ・記録の質は上げていく必要がある。 ・その日に来る子供の日頃の様子を共有している。 ・朝礼シートに記入している。 ・課題の設定をやっていると思うが、自分が理理化していない。 ・ガイドラインの総則の基本活動が分からない。 ・支援開始前にしっかり確認している。 ・気づいたことを報告している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2	1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	2		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	3		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3	1	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	1	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3		
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1	1	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4	2	2	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	3		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	5		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	4		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアが必要な子供が、現在はいない。 ・引継ぎシートももらって、共有している。 ・研修を定期的を受けている。 ・子どもの交流は、コロナの状況もあり行えていない。 ・ペアレントトレーニングは行っていないが、今後保護者向けに勉強会などを行っていく。 ・卒業の子に会っていないので分からない。 ・個別の対応方法など、支援に直接関係してくることも、送迎時に情報共有出来ている。 ・該当するケースをまだ知らない。 ・連絡体制がとれているのか知らない。 ・情報を共有しているのか知らない。 ・やっているのか分からない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	7	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	5	2	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	1	
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4	3	

者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・親子イベントを開催している。 ・通信やブログを発行している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		1	
	35	個人情報に十分注意しているか	7	1		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	2		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	4	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回避難訓練を行っている。 ・虐待防止委員会でやっている。 ・ヒヤリハットは、共有していく必要がある。 ・毎月ヒヤリハットを整理している。 ・把握しきれていなかったり、社員に任せきりになって理解できていないことが多い。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1	1	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	4		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	4		